

南東北パワーリハビリテーションセンター

五節句の一つにも数えられる七夕の短冊などを笹に飾る風習は、江戸時代から始まったそうです。利用者様の多くの方は、『健康』を願われていました。



ぼたん通信

8月号



一般財団法人 脳神経疾患研究所
 附属 総合南東北病院 附属 須賀川診療所
 南東北通所リハビリテーションセンター 須賀川
 南東北パワーリハビリテーションセンター 須賀川
 【平成三十年八月十五日発行】

夏に多い脳梗塞と心筋梗塞

血管が詰まって発症し、命に関わったり後遺症が残ったりする脳梗塞や心筋梗塞。こまめに水分を補給すれば、熱中症だけでなくこうした病気の発症リスクも下がります。

脳梗塞

夏は汗をかきやすく血液中の水分が減って、ドロドロした状態になり、血液が血管に詰まりやすくなります。

また暑さで脱水状態になると、カリウムやカルシウム、マグネシウムなど体内の電解質のバランスが崩れて不整脈を起こしやすくなります。

血の流れが乱れると、心臓で血の塊ができ、脳に運ばれて詰まる事もあります。

症状

- 典型例は顔の半分や片方の手足に起こる運動まひやしびれ。顔の片側が下がってゆがみが出て笑顔がうまく作れなくなる。
- 両腕を持ち上げた状態を維持できなくなる事もある。
- 言葉にも異常が出やすい。
 (1)言葉が出てこない。
 (2)ろれつが回らない。
 (3)相手の言葉の意味が理解できない。

心筋梗塞

気温が上昇すると、人の体はその環境変化に適応しようとし、その過程で神経が興奮状態になり血圧も上がります。

暑いと睡眠不足にもなるケースも増えてくるので、こうした原因等が影響して、血管が収縮しやすくなります。

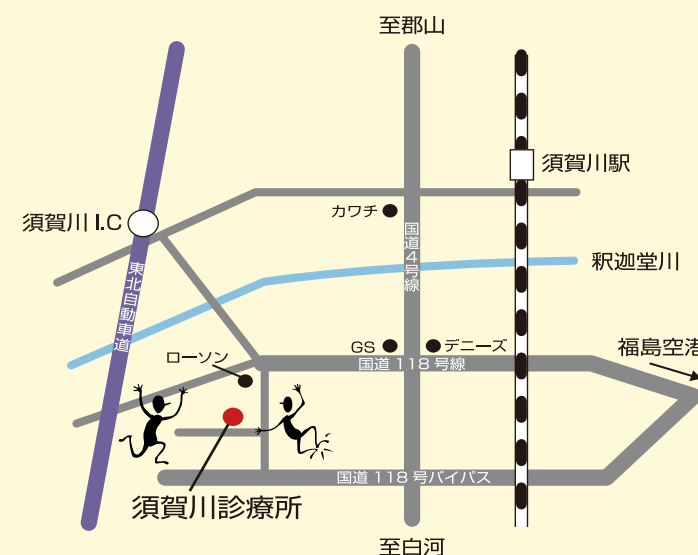
動脈が硬化し、血液の塊が血管にこびりついていて中高年等は、血管の一部が詰まってしまう、心筋梗塞が発症します。

温度差の大きくなりがちな梅雨明けや残暑等季節の移り変わり期は特に注意が必要です。

症状

- 発症する際は、胸全体が締め付けられるように痛くなって冷や汗を伴う事等が多い。

脳梗塞、心筋梗塞とも発症が疑われた場合は、「**迷わず救急車を呼ぶ**」のが鉄則です。発症後早めに治療すれば、それだけ回復が見込めます。



(一財)脳神経疾患研究所
 附属 総合南東北病院 附属 須賀川診療所
 TEL (0248)73-3331 (代表)
 FAX (0248)72-9590
 南東北通所リハビリテーションセンター 須賀川
 南東北パワーリハビリテーションセンター 須賀川
 TEL (0248)73-3329 (通所直通)
 【関連事業所】
 南東北須賀川居宅介護支援事業所
 南東北訪問看護ステーション たんぽぽ
 962-0032
 須賀川市大袋町206-2
 e-mail: sukagawaclinic@mt.strins.or.jp
 homepage: http://www.sukagawa-clinic.com/

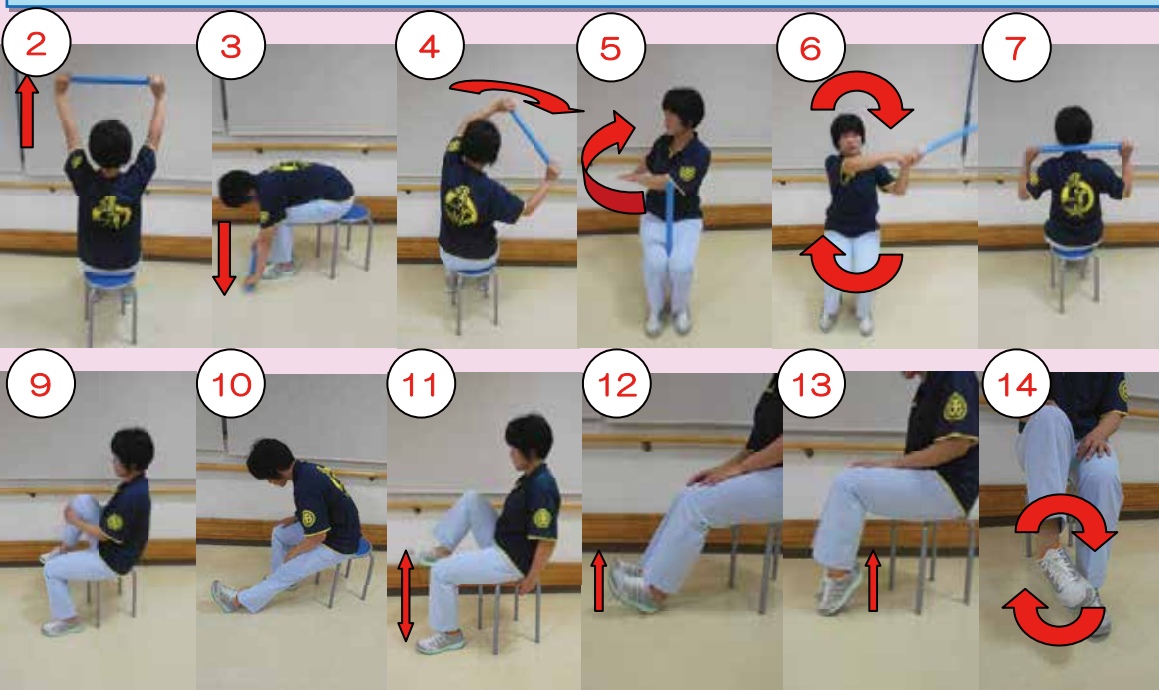
編集後記

夏の暑い盛り、不規則ながらも心地よい音色を奏でる風鈴は目と耳で涼を感じさせてくれます。一瞬のそよ風に乗って軽やかにたゆたう風鈴は蒸し暑い日本に暮らす納涼の智恵の結晶ともいえるでしょう。

近頃はあまりみかけないようですが、鉄製・ガラス製・陶器や木・水晶など様々な材質・形状で作られており、音色や色合い・雰囲気はそれぞれ違います。

忙しく過ぎていく日常、風鈴の奏でる音色から涼を感じとるそんな心のゆとりを持ちたいものです。

発行 2018年 8月号
 一般財団法人 脳神経疾患研究所
 須賀川診療所
 ぼたん通信担当



『今月の利用者様の川柳・短文『作品募集中』』

たくさんの作品を有難うございます。今後も作品募集中です。是非ともご参加下さい。



『一時涼しい
夏になり』

『猛暑に
家族と食べた
カキ氷』

『名も知らぬ
一輪の花に
魅せられて
カメラに
収める
散歩の帰り』

『猛暑にて
真つ赤な篝火の
樹の葉の下は
清涼ふきて』

短歌



研修 参加してきました。

職種 介護福祉士 氏名：佐藤 香奈江

テーマ：高齢者虐待予防、身体拘束廃止について

内容：平成30年6月16日(土) 東日本国際大学 健康福祉学部教授
松本喜一先生の研修会に参加してきました。

身体拘束を必要としないケアの取り組みでは尊厳あるケアを目指し、原因分析には十分なアセスメント力が必要であり、それが良いケアプランにつながる事。また、高齢者虐待のとらえ方には事例をもとに考える事が大事であり、自己流のやり方が問題を起こす事が多く背景には5つの項目に取り組む必要がある。①組織運営、②チームアプローチ、③ケアの質、④負担・ストレスと組織風土。この5つの項目が統一されている事が大事であると研修で学びましたので、今後の業務にいかせる様にしていきたいと思います。

作品紹介

今月は、通所リハビリの利用者様が打ち上げ花火の貼り絵を作られました。色とりどりの花火が打ち上がる様子が、とてもすばらしい作品でした。



《来月の通所リハビリ行事予定》

★ 敬老会



《来月のパワーリハビリ行事予定》

★ 敬老会



南東北通所リハビリテーションセンター 須賀川

7月は『七夕』、『風鈴作り』、『カキ氷作り』と沢山の行事を行いました。七夕では短冊に願いを込めて笹へと飾り、七夕の昔話を聞いたり皆で歌を歌ったりしました。風鈴作りはペットボトルを材料にして、色々飾り付けながら、皆さん楽しんで作ってられました。カキ氷作りでは、最近猛暑が続いているので皆さんとても美味しそうに食べておられました。まだまだ暑い夏は続きますが、皆さん元気に乗り越えていきましょう。

